資料3

令和8年度白井市市民団体活動支援補助金
中間ヒアリングシート

活動促進型

１　団体概要

申請団体名	おもしろいタウン	**事業名**	こどものまち　おもしろいタウン
申請事業の概要	「こどものまち　おもしろいタウン」の開催		
審査コメント	・本事業は、子どもたちの主体性や思考力等を育む機会であり、子どもの健全育成及び社会教育の観点から、意義深い取組であると評価します。 ・不測の事態に備えて、安全対策や実施体制などの準備を十分に実施してください。 ・市内各地で取り組みをさらに展開することを期待します。		

２　補助事業の進捗状況について

事業計画書どおりに事業は進んでいますか。

（１）進められている取組について（実績など）

6 月末に子どもスタッフ募集のチラシを小学校に配布したところ、55 名の子どもスタッフの応募がありました。予定どおり、7 月 26 日、8/23、9/27、に第 1 回、第 2 回、第 3 階の子どもスタッフ会議を行いました。第 1 回に行った「まちをつくろう」ワークショップ
では、ちばボラから応募のあったボランティアが 10 名参加し、若いパワーのおかげでとても楽しく行えました。第 2 回、3 回とお店班と、まちづくり班に分かれて企画を考え中。スタッフがそれぞれフォローしつつ、企画をすすめました。
10 月 26 日に第 4 回子どもスタッフ会議（1 回目のリハーサル）を行いました。お店の準備で足りないところなどを確認しました。
10 月 27 日より、当日の参加者募集のチラシを全小学校に配布配予定です。
同時に、当日の大人スタッフも募集。

（２）進められていない取組について（原因など）

体育館の冷房設備工事のため、体育館の使用許可日に変更があり、11 月 29 日に本番を行うことになった。そのため、第 4 回、第 5 回、第 6 回の子どもスタッフ会議も日程を変更することになりました。

（３）下半期の活動計画について

11 月 15 日に第 5 回子どもスタッフ会議（2 回目のリハーサル）を行います。
また、11 月 29 日が本番当日。12 月 6 日に第 6 回子どもスタッフ会議（まとめの会）を行います。その後、実行委員の振り返りを行い、活動終了。

３　補助金等の活用状況について

収支予算計画書に沿って補助金を活用できていますか。

（１）活用できている取組について

印刷費（ちらし２回分)、消耗品（子どもスタッフ用ファイル、名札、模造紙、文房具等)、会議室利用料などに使用しています。

（２）活用できていない取組について（原因など）

特になし

（３）下半期の補助金活用計画

お店の（25 店舗）の製作費、保険料が主な補助金の活用になります。当日参加者の人数によって収入が変わるため、感染症などで参加者が減らないことを祈ります。

４　審査コメントへの対応状況について

市民活動推進委員の審査コメントに対し、どのように対応をしていますか。

・今年は、定員を超える参加があり（55 名)、そのうち、昨年、一昨年も参加してくれたリピーターが 20 名ほどいます。またやりたいと思える活動になっていると思います。子どもスタッフたちは、いろいろな発想で、お店やまちを作ろうと頑張っています。学年や学校のちがう者同士で一緒にお店を考えるグループもあり、コミュニケーション能力も育まれていると感じます。
・昨年の反省から、「おもしろいタウンにおける安全ガイドライン」を作成し、保護者に周知いたしました。またリハーサル時に、お店で使用する道具等を確認し、安全管理に努めます。

５　団体活動の活性化と自立の課題について

団体活動を進めていくうえでの活性化と自立の課題（人、モノ、資金、場所、情報など）はありますか。課題に対してどんな工夫をしていますか。

活動を継続するには、今の実行委員だけでは難しいと感じています。
今年は、千葉県地域ボランティア（ちばボラ）にボランティア募集団体として応募したことにより、市外から大学生の参加がありました。また、まちサポの夏休みの NPO 体験会でも学生の参加がありました。この中には、体験会の以降の 9 月、10 月の子どもスタッフ会議や、本番当日も参加したいと申し出てくださった方もいます。活動を継続していくために、新たな大人スタッフを確保していきたいと思います。
また、会議のために、市内の公共の会議室を確実に確保できるようにするために、市と協力が得たいと思っていますが、どのように進めていけばいいか、模索中です。

６　令和９年度の展望について

継続的な活動のために、次年度はどのような活動をする予定ですか。

第 5 回おもしろいタウンを開催予定です。
市内、全小学校で開催することを目標としているため、来年は別の小学校で開催予定です。
大人ボランティアも引き続き募集していきます。

1　団体概要

申請団体名	桜台剣友会	**事業名**	地域剣道を核とした「子供成長・地域交流プロジェクト」
申請事業の概要	剣道を通じて子どもの健全育成・保護者同士のつながり・地域交流を同時に促進する、地域課題解決型事業。①子ども剣道体験会、②親子剣道教室、③地域交流剣道イベント		
審査コメント	・桜台地区が中心の活動となりますが、子どもたちが剣道を通じて礼儀作法などを体験する機会として有益な試みだと思います。 ・桜台地区だけでなく、他地区でも地域のつながり醸成や体験格差の解消に資するよう、多世代交流や地域のつながりなどにつながる取組を実施していくことを期待します。 ・活動については、市民連携が進む取組となるように、活動を通じて工夫やノウハウの蓄積をしていただきたいです。		

※会議当日に追加予定。

活動発展型

１　団体概要

申請団体名	白井市文化センターを未来につなぐ会	**事業名**	国際文化でつながる平和の祈り　カテリーナコンサート
申請事業の概要	白井市と市民にとって文化ホールの大切さを知ってもらうためにコンサートを企画した。美しい歌声や旋律に触れる喜びや感動、楽しさ、そして心の豊かさを実感してもらえるように幅広いレパートリーで活躍しているカテリーナ氏の弾き語りと、ペルーの民族舞踊で子どもから大人まで楽しめる内容となっている。		
審査コメント	・ホールの特性を生かしたイベントとなっており、市民が魅力を再発見する機会となることに期待する一方で、活動を続けた先につながる未来が共有しづらいので、このイベントを実施する意義を明らかにできるとなお良かったと思います。 ・多くの市民が文化センターの魅力に気付くことのできるイベントになるよう、さらに工夫して実施してください。 ・一過性のイベントで終わらないと良いと思います。また、ウクライナの方をお招きするのであれば、平和啓発要素などが事業に盛り込まれると良いと思います。		

２　補助事業の進捗状況について

事業計画書どおりに事業は進んでいますか。

（１）進められている取組について（実績など）

現在チラシ配布(市内の各センター、協力市民団体、協賛会員などへ)、チケット販売開始

（２）進められていない取組について（原因など）

チケット販売については個人に頼る現状であること、お金のやり取りが発生することから、まだほとんど進んでいません。

（３）下半期の活動計画について

11 月 8 日(日)まちボラひろば 2026 にてチラシ配布・チケット販売

12 月 6 日(日)複合センターまつりでのチラシ配布・チケット販売

12 月 10 日(木)施設側との打ち合わせ、パンフレット作成・発注

３　補助金等の活用状況について

収支予算計画書に沿って補助金を活用できていますか。

（１）活用できている取組について

チラシ 5000 部、チケット 600 部発注分、会場費立替分について活用しています。

（２）活用できていない取組について（原因など）

プログラム作成は 12 月予定のためまだできていません。
出演者への謝礼は当日のため未活用。

（３）下半期の補助金活用計画

プログラム作成、出演者への謝礼

４　審査コメントへの対応状況について

市民活動推進委員の審査コメントに対し、どのように対応をしていますか。

① 活動をつづけた先につながる未来が共有しづらい
→今回をモデルに施設の自主事業内容の発展につながってほしいです。また、普段大ホールでのコンサートの情報が入らない方に、今後関心を持ってもらえるといいと思っています。
② 多くの市民が文化センターの魅力に気づくことのできるイベントになるようにさらに工夫して実施してください。
→他市民団体と協力することで工夫しています。また、館内のイベント情報紹介なども初めの挨拶などに加える予定です。
③ 一過性のイベントで終わらないといいと思います。平和啓発要素などが事業に盛り込まれていると良いと思います。
→大きなコンサートを継続的に行うには大きなお金と人手が必要です。今回のようなコンサートを続けることが当会の活動目的ではありません。活動趣旨をご理解いただきますようお願い申し上げます。平和啓発活動として、市内の関連団体の方と連携しています。

５　団体活動の活性化と自立の課題について

団体活動を進めていくうえでの活性化と自立の課題（人、モノ、資金、場所、情報など）はありますか。課題に対してどんな工夫をしていますか。

アクティブに活動に参加してくれるメンバーが少ないこと、活動費を集めることに課題があります。活動を支える費用をまかなう場として、3～4 か月に 1 回「まちなかミュージックセラピー」を開催しています。メンバーについては関心を持ってくれる人がいても一緒に活動してくれるところまでは難しいです。

６　令和９年度の展望について

継続的な活動のために、次年度はどのような活動をする予定ですか。

定期活動として、まちなかミュージックセラピーの継続をしていきます。
ほか、2027 年度は「0 歳からのコンサート」をまた開催したいと考えています。「なぞとき」については作成側の都合もあり、未定です。